

[熊本 S.J.C.D.例会 抄録]

演題 少数歯残存に対する義歯の設計

演者 松原 明日香

発表日 2012年9月25日

Keywords

- ・少数歯残存
- ・咬合再構成

抄録

臼歯部咬合崩壊の著しい患者に関しては、確実なバーティカルストップを確立することが重要である。咬合挙上が必要な症例で、挙上した顎位を長期的に維持するためにはインプラントの適用が望ましいと思われるが、必ずしも患者がそれを選択するわけではない。

患者は72歳男性。

歯の欠損が多数認められ、歯の咬耗、咬合平面の乱れが見られた。治療用義歯とプロビジョナルレストレーションにて咬合を挙上し、半年が経過した。

現在自分が与えた咬合の再評価の段階ではありますが、今までの治療経過と今後の進め方、補綴設計に関し、最終補綴に移行する前に先生方のご意見、ご指導を頂ければと思います。

よろしくお願い申し上げます。